

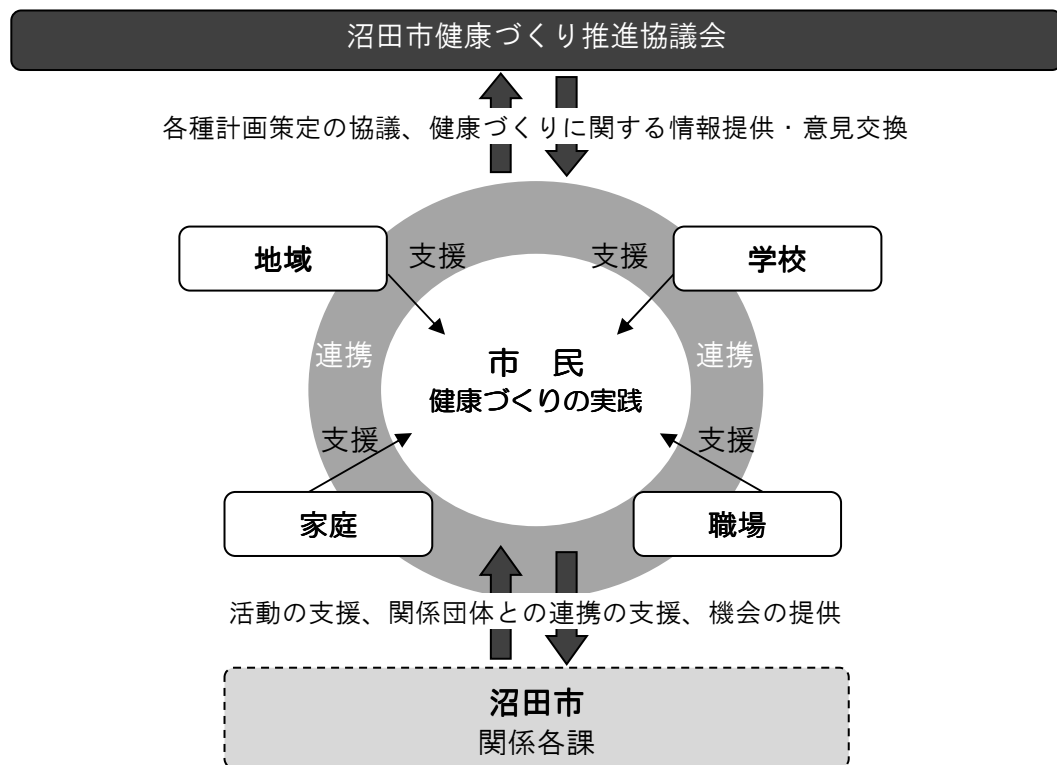
第5章 計画の推進に向けて

1 計画の周知

計画を推進するためには、健康づくりの主体である市民一人ひとりの参加が重要です。そのため、計画を市のホームページや広報、健康教室等の各種事業で市民や団体、企業等へ周知を図ります。あわせて、計画の内容をより周知・活用できるよう概要版を作成・配布します。

2 推進体制の整備

本計画の推進に向け、市民、地域及び保健・福祉等の各団体と行政が連携し取り組むことが必要です。行政内部においては、関係各課が連携し計画の推進状況を確認していきます。



3 計画の評価

本計画を総合的かつ計画的に展開していくため、取組の検証を行い、さらなる展開に反映させていくことが必要です。計画に掲げた目標の達成に向けては「PDCAサイクル^{*1}」の考え方にに基づき、年度ごとに計画の進捗状況を把握します。

また、令和6年度には社会情勢や制度等の変化を反映させるため、計画の中間評価及び見直しを行います。最終年度には健康意識調査を行い、目標値の達成状況を評価します。

*¹PDCAサイクル…計画の推進において、Plan（計画の策定）-Do（計画の実行）-Check（実施状況の確認・評価）-Action（評価結果の計画への反映・計画の見直しとその実行）の手順を循環させることで、継続的に計画の実効性を高めていく手法・考え方。